

(1) COIL Trial : オンラインによる語学研修&フィールドスタディ

— 北京外国語大学 : 中国語研修と日本語学科との学生交流 2022, 2023 —

(2) 日本語ディスカッション (協定校サービス日本語講座)

— 海外協定校の参加学生によるZoomディスカッションから学ぶ日本語と異文化理解 2021, 2022, 2023

国際交流センター 福岡昌子

COILを活用した国際教育交流：グローバル人材育成や留学促進を目指す

●COIL（国際協働オンライン学習プログラム）は、米国のState University of New Yorkによって2006年に開始された。

●COILは異なる国や地域に所在する2か国以上の大学において、授業を提供する教員同士が共同でシラバスを作成し、オンラインで国際的な協働学習の要素を組み込んで実施されるものである。

● COILが期待される効果

- ①数か国との協働学習や比較学習活動が可能
- ②学生のリーダーシップ能力やプロジェクトの企画運営能力を養成
- ③学生のICTリテラシーの向上
- ④教員間ネットワークの醸成
- ⑤留学が難しい学生への国際交流機会の提供
- ⑥オンラインと対面を組み合わせた教育手法による新たなグローバル教育の構築・展開
- ⑦海外留学派遣や外国人留学生受入れなどの学生移動が促進される

(1) オンラインによる北京外国語大学：語学研修&フィールドスタディ2022

1) 目的1：

- ①日本と中国をめぐる経済・社会・文化活動を知る。
- ②本学の在学期間において、中国語や現代中国の状況を知る機会を提供し、将来国際的に活躍する人材を育成する。

2) 目的2：

- ①中国語（北京語）を学ぶ，②現代中国を知る，③協働学習を行って学生同士の交流を図る，④訪問先の都市の文化・社会を知る

*北京外国語大学の中文系・日文系・弁公室と協力し，中国語（北京語）の講習，日文系学生との交流を図った。また，日中経済協会北京事務所とZoomで繋ぎ，現代中国を学んだ。

2022年度

- I. 8月17日（水）～24日（水）北京外国語大学講師による中国語語学研修
- II. 8月23日（火）日中経済協会北京事務所所長の講演
- III. 8月22日（月）～26日（金）三重大学の学生と北京外国語大学日本語学科の学生との交流活動

8/15 (月)	8/16 (火)	8/17 (水)	8/18 (木)	8/19 (金)
一斉休業	一斉休業	9:00～9:30 オリエンテーション	9:00 Zoom 入室	9:00 Zoom 入室
<ul style="list-style-type: none"> ●事前 Zoom 打合せ ・三重大学学生 8月2日 (火) 12:10～12:45 ・北京外国語大学学生 8月17日 (水) 12:15～12:45 ①日程確認 ②中国語テキスト配布 ③8月26日三重県紹介グループ決め ④参加者のリスト・メールアドレス ⑤アンケート報告 *事前打合せ後送付 		<ul style="list-style-type: none"> ①日程について ②中国語について ③日本語学科との交流方法 ④テーママッチング結果 ⑤中国語の先生のご紹介 	9:05～9:55 中国語③	9:05～9:55 中国語⑥
		9:30～9:55 Yu wenxuan 先生、中国語 オリエンテーション	10:05～10:55 中国語④	10:05～10:55 中国語⑦
		10:05～10:55 中国語①	11:05～11:55 中国語⑤	11:05～11:55 中国語⑧
		11:05～11:55 中国語②	11:55～12:00 連絡事項	11:55～12:00 連絡事項
		11:55～12:00 連絡事項		

8/22 (月)	8/23 (火)	8/24 (水)	8/25 (木)	8/26 (金)
9:00 Zoom 入室	9:00～10:30	9:00～10:10 中国語⑨	9:00 Zoom 入室	9:00 Zoom 入室
9:05～9:55 中国語⑨	・グループ検討会 (i)	テスト (中国語⑩～⑪)	・グループ検討会 (iii)	・グループ成果発表会
10:05～10:55 中国語⑩	①グループ対面	1人5分	・発表内容の検討	9:05～9:25 Aグループ
	②発表内容の検討	10:10～10:30 中国語⑫	・PPTの作成・完成	9:25～9:45 Bグループ
	メール交換・確認	フィードバック	・発表者はどうするか?	9:45～10:05 Cグループ
10:55 連絡事項		まとめ、感想		10:30～11:45
11:00～11:55	10:40 Zoom 入室	10:30～12:00		・視察研修 (Zoom):
・北京外国語大学学生と対面式	10:45～11:55	・グループ検討会 (ii)		三重大・研究紹介、伊勢神宮
①日本語学科の先生のご紹介 一費曉東 先生	・日中経済協会北京事務所所長の講演	・発表内容の検討		北京外大紹介、故宫紹介、万里の長城
②日本語学科の参加学生相互に自己紹介	一川合規所長	・PPTの作成		北京・三重県の紹介 (学生発表: PPT or 動画)
③グループ検討会の予定	・質疑応答			*総括
④テーマ・グループ発表	11:55～12:00 連絡事項			・記念撮影
				・報告書・アンケート提出
				・グループPPTの提出
				11:45～12:00
				・反省会 (三重大生のみ)
				・報告書の提出 (別紙)
				・中国語のテスト結果

3) 参加者 *出席率：三重大学95.5%、北京外国語大学96.2%

- ・ **三重大学11名**：教育学部2名、人文学部4名、生物資源学部2名、医学部2名、国際交流センター1名、男3名女8名、タイ、ドイツの留学生を含む。
- ・ **北京外国語大学9名**：日本語学科（1年生3名、2年生3名、3年生1名、大学院2名）、男3名女6名

4) 研修・交流内容

- ①語学研修：北京外国語大学テキスト“Learn Chinese with Me”、初級レベルの場面シラバスを中心として、50分×12回（最終会話テスト含む）
- ②グループ討論会・発表会：学生が関心のあるテーマに基づき、両大学の学生を3グループに分け、発表内容をグループで検討し、発表した。
- ③自国の文化の紹介：三重（日本）の地域や文化、北京（中国）の地域や文化について、紹介し合った。

• 2023年度

I. 1月6日～2月3日（毎週土曜日9時～12時）中国語語学研修

II. 1月10日～2月7日（毎週水曜日9.10限）

三重大大学の学生と北京外国語大学日本語学科の学生との交流活動

1/6 (土)	1/13 (土)	1/20 (土)	1/27 (土)	2/3 (土)
<p>中国語オリエンテーション Wang Tong先生のご紹介 10:05～10:55 中国語① 11:05～11:55 中国語② 11:55～12:00 連絡事項</p>	<p>9:00 Zoom入室 9:05～9:55 中国語③ 10:05～10:55 中国語④ 11:05～11:55 中国語⑤ 11:55～12:00 連絡事項</p>	<p>9:00 Zoo入室 9:05～9:55 中国語⑥ 10:05～10:55 中国語⑦ 11:05～11:55 中国語⑧ 11:55～12:00 連絡事項</p>	<p>9:00 Zoom入室 9:05～9:55 中国語⑨ 10:05～10:55 中国語⑩ 11:05～11:55 中国語⑪ 11:55～12:00 連絡事項</p>	<p>9:00 Zoom入室 9:05～11:00 ⑫テスト 11:00～11:55 ⑬中国語交流 北京外大の 학생さんと中国語で会話チャレンジ 11:55～12:00 Wang Tong先生の講評</p>
1/10 (水)	1/17 (水)	1/24 (水)	1/31 (水)	2/7 (水)
<p>16:20 ①費曉東先生のご紹介 & お話ー中国の春節についてー 16:40 ②両大学の学生の対面式 (自己紹介) ③テーマ・マッチングgroupの発表 ④模擬ディスカッションの体験 ⑤模擬ディスカッションの結果を発表 (PPT1枚) 17:45 連絡事項</p>	<p>16:20 ①ディスカッションの方法についての説明 ②座長グループ検討会 ・PPT資料準備 (PPT約8枚) 17:40 進捗状況の発表 連絡事項</p>	<p>16:20 ●座長グループ1の発表 15:30 ディスカッションの結果を発表 (PPT約5枚) (4グループ) 17:45 連絡事項</p>	<p>16:20 ●座長グループ2の発表 15:30 ディスカッションの結果を発表 (PPT約5枚) (4グループ) 17:45 連絡事項</p>	<p>16:20 ●交流会 ・中国の大晦日の様子をZoomで紹介してください☺ ・Q&A 17:40 ・講評、記念撮影 ・報告書・アンケート提出 (2/7の24時まで) ・グループPPTの提出 ・修了書と中国語のテスト結果の送付について</p>

2022年度成果

- ①本学学生と海外協定校の学生との**相互交流**や**異文化理解**に貢献できた。
- ②オンラインでの**短期語学留学の成果**を十分に達成することができた。
- ③昨今の報道により双方の学生が互いの国に対して**偏見**を持っていたが、本事業の交流活動によって**払拭される機会**となった。
- ④**日中経済協会北京事務所**所長の「現代中国を知る」講演を聞き、双方の学生がそれぞれの視点から**現代中国の知識**を得ることができた。
- ⑤文化や言語の異なる学生が参加する**国際共修型のCOIL授業**を展開することができた。

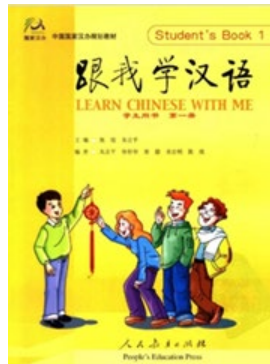
中国と日本のバラエティ番組の違い

お笑い文化の違い

- 日本の番組は体を張る笑が多い
中国の番組はトークが主流
- 日本では、一発屋の新人喜劇人が人気を取ることがあるが、中国ではあまりない



動画出品



4. 中国流の経済発展システムとその修正

●中国流の経済発展システム

- ①「改革・開放」：経済における自由主義（自由競争）の導入
 - ②地方政府間の開発競争 ← 地方政府指導者間の出世競争
 - ・ 1994年の分税制改革により、土地関連の税金や土地使用権譲渡収入は地方政府に帰属。
 - ・ 地方政府は、外資等を対象とした投資誘致競争、土地価格等を促進。
 - ・ その結果、100大中都市の工業用地価格は、住宅用地価格のわずか約5%の水準に（日本の場合、約50%）。
 - ・ 工業用地の供給を優先したことが住宅用地の供給不足、住宅用地価格の高騰につながったとの指摘もある。
- 今後、これをどのように修正して民生の充実を図っていくかに注目。

5. 日中国交正常化50周年への取組

- 45周年までは、日本の経団連が中心となって実行委員会を組織、そこが主催して中国において記念事業を実施。
- 今回は、北京において、中国日本協会が中心となって実行委員会を組織。中国国内の日系企業から協賛会を集めた上で、9月24日・25日に北京悠唐ショッピングモールにおいて、イベントを開催する予定。
- また、中国日本協会は、昨年、記念ロゴマークを中国国内で公募、総数162作品の中から、最優秀作品を選定。記念ロゴマークの使用を希望する者に対し使用権を付与。

6. 中国と向き合うに当たって

- 米中対立やロシアによるウクライナへの侵攻により、政治体制論や安全保障論が優勢に。
- グローバル自由主義経済も岐路に。
- 一方で、安全保障政策や経済政策の観点から見ても、両国との平和・友好関係の維持は極めて重要。
- 中国の場合、特に政府の力が強いので、政府首脳レベルの対話が重要。
- 政府首脳を動かすのはそれぞれの国民。国民同士の相互理解も重要。すなわち、「相手を知る」ことが重要。
- まず中国語を学ぼう！ 中国へ来てみよう！ 中国をよく知っている人から学ぼう！



(2) 日本語ディスカッション (協定校サービス日本語講座)

2021, 2022, 2023

実施概要 (2022)

- 実施日程：2022年11月9日～2023年1月25日、16時20分～17時50分、合計9回
- 目的：①海外の協定校の学生と三重大大学の日本人学生が、互いに異文化の視点を尊重し、Zoomで日本社会や文化について学び、ディスカッションする。②受講者は、社会や文化に対する観察力を磨き、自分の考えをまとめて発表する力を養う。③三重大大学へ留学を促進する。
- 参加大学および参加人数：ハイデルベルグ大学2名（ドイツ）、安徽農業大学8名・江蘇大学2名（中国）、国立高尾師範大学1名（台湾）、ホーチミン師範大学5名（ベトナム）、サンパウロ大学1名（ブラジル）、パジャジャラン大学5名（インドネシア）、Maejo 大学1名（タイ）、三重大大学3名（日本）、合計8つの国と地域 28名。

結婚前の同棲は必要か否か



シェーファアーリナ、川崎真由加、クルークアントニュース

趣味を仕事にすべきか

発表者：胡帆瑜
Gabriel Alves dos Santos de Souza
汪恩周
何達
蔡一恒

1. 小学生スマホの使用状況

Chart 1. 小学生にスマホを所持するようになった理由は何ですか？



2021年の調査結果によると、8歳から12歳までのスマホを持っている子供の割合は61%ということです。その上、8歳の時点でスマホを持っている子供の割合は11%だそうです。

出典: EXAMENET DAILY "Delving the smartphone generation".
https://www.examenet.com/2021/04/14/14-04-2021-01/

プラスチックストローを廃止する問題

- I. プラスチックストローのメリットとデメリット
- II. ストローの使用廃止を発表した日本での有名な企業
- III. プラスチックストローの代替商
- IV. プラスチックストローを廃止した後の結果
- V. 評価のポイント & ディスカッション


「人間力」の前に「言語力」が大事か

THE PROFESSIONAL POWERPOINT TEMPLATE

作者: 330719 330719 フォンク フォンク フォンク フォンク フォンク フォンク




Q1-1. 日本語ディスカッションは楽しかったですか？



● はい。 ● いいえ。

Q1-2. 特に何が楽しいと思えましたか？



- 座長同士の事前準備の相談
- 毎回異なるテーマで、ディスカッションしたこと。
- 毎回異なるメンバーで、ディスカッションしたこと。
- 毎回グループごとに競わせる点。
- オンラインでディスカッションできたこと。
- ディスカッションを通して、楽しく交流できたこと。

- 日本語レベルがN3なのに「日本語ディスカッション」に参加し、日本語で皆さんと会話できてとてもうれしかったです。この体験を機会にもっと日本語を勉強します (ブラジル)。
- 参加国の皆さんの国の文化や考え方について理解が深まりました。楽しい授業でした (ドイツ)。
- 異なる国の人と話し合えてとても楽しかったです。会話の練習もできて友達もできました。議論の場でもっと自分の意見を言えなかったのが残念でしたが、いい体験でした (中国)。
- 幸いにもこの授業に参加することができ、異なる国の学生と一緒に討論し意見を分かち合うことができました。先生が内容をレビューすることもあり、誰もが自分の意見を述べる機会があり、授業が充実しているように感じます (中国)。
- 最初は先生の話していることがわからなかったのですが、徐々に聞き取れるようになりました。とても有意義な討論で、異なる国の学生達と授業を受けることができ嬉しかったです (中国)。
- 今まで1人で日本語を勉強していたから、文法も正しくないし語彙力も足りなかった。でも、皆優しく接してくれて感謝しています。これからも日本語頑張ります (台湾)。
- 授業は中国より面白く、こんなディスカッション式の授業な希有なチャンスです。私はよくオンライン授業をしています、毎回期待する気持ちで参加した授業は初めてです (中国)。
- 海外の大学と交流する機会をはじめてでした。私の語学力の欠如のために、スムーズに交流できなかったのが残念でしたが、これからも引き続き参加して自分の能力を鍛えます (中国)。
- このプログラムに参加できて嬉しかったです。先生と新しい友達に出会って日本語が上達しました (インドネシア)。
- この授業を通して、自分の日本語のレベルがまだ足りないことに気づきました。もっと日本語を勉強したいです。新鮮なことがたくさんあって面白かったです (中国)。
- 海外の文化の違いを発見することは難しかったですが、普段の生活では関わることができない海外の方とお話しできたことが良かったです (日本)。

COILによる国際協働学習

多様な文化的・言語的背景をもつ学生同士の学び合いの場の提供

- **短期留学としての効果が十分に発揮される。**
- インターンシップなど実際現地での体験型研修を除き、**語学研修や異文化体験**を含む現地視察やフィールドスタディにおいて、COIL型の研修・交流活動で、十分に成果が発揮・達成できる。
- 協定校の学生同士が**ICTリテラシーの向上**だけではなく、**協働学習を通して知見や交流**を深めることができる。
- **教員間**においても意見交換しながら協働学習を指導することができる。
- COILによる国際協働学習を積極的に展開することで、さまざまな形で**グローバル人材の育成や留学促進が展開できる。**